

# 思い出写真館

〈その43〉



## 東京オリンピックの開会式【昭和39年10月10日】

国立競技場で行われる東京オリンピックの開会式を見に行きたいと思い、募集をしていたので応募したところ、500円(今でいう5,000円くらい)の一番安い入場券が当たりました。最上段で電光掲示板端の下辺り、会場全体が見渡せる席でとても迫力のある開会式だったと記憶しています。写真が好きなので撮るのに夢中でしたが、その中でも入場行進と聖火の点火が印象に残っています。また、当時は埼玉県航空自衛隊入間基地に勤めていたので、航空自衛隊が空に五輪マークを描く練習を見ていました。開会式当日は雲一つない秋晴れで、とてもきれいな五輪マークだったことを今でも鮮明に覚えています。

2020年には再び東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。会場で見るのは年齢的に難しいかもしれませんが、楽しみにしています。



澁谷 弘美さん  
81歳【南和田】元航空自衛隊

※このコーナーでは皆さんの思い出の写真を集めています。  
連絡先：企画空港政策課広報係  
☎ 76-5409

## 編集後記

★明けましておめでとうございませう。今年も「広報たこ」をよろしくお願ひします。★アラカルトで紹介した、多古高での骨粗しょう症検査。体験しなければ良い記事は書けない！ということで骨密度チェックをさせてもらいました。毎日牛乳飲んでるし、私は骨太で何の心配もいらないと意気揚々と検査に臨みました。しかし悲しい結果が…。何事も過信するのは良くないと思いましたが、今年も牛尾の蛇祭りにお邪魔させて頂きました。思えば、昨年の蛇祭りでも童子に墨を付けてもらい、1年間風邪をひかずに過ごせました。今回も子どもたちに墨をつけてもらったので、1年間健康に過ごせますように！

★明けましておめでとうございませう。本年も「広報たこ」をよろしくお願ひします。さて、皆さんは年賀はがきを毎年書かれていますか。最近では、メールやSNSなどで済ませるという方も増えてきたのではないのでしょうか。それも手段の一つだと思えます。ただ、お正月の時期になると、郵便配達に来るたびに誰から年賀はがきが届くかなとワクワクする自分がいます。なぜだろう？と考えた時に、やっぱり形として手元に届くことが純粹に嬉しいんだと思いました。特に、手書きのメッセージが添えられたものは特別です。なんでも便利になった時代だからこそ、年賀状を送り合う文化は変わらなずに残ってほしいです。

